

□全体プログラム (Full Program)

日本地震工学会・大会ー 2024 全体プログラム
Full program - JAEF Annual Meeting 2024

4 th of December 於：じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）

2F ホール(A 会場)	5F 中会議室 (B 会場)	5F 小会議室1 (C 会場)	5F 第小会議室2 (D 会場)
開会の挨拶・会長挨拶 (9:30-9:40)			
基調講演：京都大学 松島信一 教授 (9:40-10:40)			
A-11 地中構造物およびダム-1, 杭および基礎構造-1, 地盤と構造物の相互作用-1 (10:50-12:20)	B-11 震源特性-1 (10:50-12:20)	C-11 免震・制振・ヘルスマモニタリング-1 (10:50-12:20)	
A-12 地盤と構造物の相互作用-2, 土木構造物 (13:30-15:00)	B-12 震源特性-2, 地下構造 (13:30-15:00)	C-12 免震・制振・ヘルスマモニタリング-2 (13:30-15:00)	D-12 社会問題-1 (13:30-15:00)
A-13 建築構造物-1 (15:05-16:35)	B-13 地盤震動-1 (15:05-16:35)	C-13 免震・制振・ヘルスマモニタリング-3 (15:05-16:35)	D-13 社会問題-2 (15:05-16:35)
A-14 建築構造物-2 (16:40-17:55)	B-14 地盤震動-2 (16:40-17:55)	C-14 免震・制振・ヘルスマモニタリング-4, 原子力構造物-1 (16:40-17:55)	

5 th of December 於：じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）

2F ホール(A 会場)	5F 中会議室 (B 会場)	5F 小会議室1 (C 会場)	5F 第小会議室2 (D 会場)
A-21 建築構造物-3 (9:15-10:45)	B-21 地盤震動-3 (9:15-10:45)	C-21 原子力構造物-2, 機械設備系, 新しい構造・材料・その他 (9:15-10:45)	D-21 被害調査-1 (9:15-10:45)
A-22 建築構造物-4 (10:50-12:20)	B-22 地盤震動-4 (10:50-12:20)	C-22 English Session (10:50-12:35)	D-22 被害調査-2 (10:50-12:35)
A-23 建築構造物-5 (13:30-15:00)	B-23 地盤震動-5, 津波・歴史地震・その他 (13:30-15:00)		
地震による倒壊家屋からの救助訓練プログラムに関する研究委員会公開セッション (15:30-17:00)	B-24 地盤の液状化・斜面崩壊 (15:05-16:35)		
閉会式(17:00-)			

□基調講演・研究委員会報告

基調講演

2024年12月4日 9:40-10:40

京都大学大学院 松島信一 教授

不確実性を考慮した南海トラフ沿いの巨大地震による構造種別ごとの建物被害推定
—東京大学地震研究所・京都大学防災研究所拠点間連携共同研究重点推進研究—

研究委員会報告

2024年12月5日 15:30-17:00

地震による倒壊家屋からの救助訓練プログラムに関する研究委員会 公開セッション

本セッションでは、これらの課題についてこれまで実施してきた調査研究に関する報告と、救助訓練に関する実践報告、およびパネルディスカッションを実施する。

□一般講演(General presentations) 各発表の持ち時間：15 分（発表時間 12 分+質疑 3 分）

A-11 4th of December 10:50-12:20

地中構造物およびダム-1,杭および基礎構造-1,地盤と構造物の相互作用-1

Chairperson: 中川博人（建築研究所）

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-11-1	20240059	部材降伏が生じる開削トンネルの地震時挙動に関する二次元模型実験	高橋健生(中央大学)
A-11-2	20240164	基礎に剛性偏心を有する杭基礎建物の振動性状検証実験	藤永智己（大阪大学）
A-11-3	20240091	水平耐力を高めた格子状地盤改良併用パイルド・ラフト基礎の地震観測	濱田純次（竹中工務店）
A-11-4	20240146	上部構造の加速度データを用いた杭の損傷検知に関する予備研究	Yeow Trevor Zhiqing（東京科学大学）
A-11-5	20240179	2024 年能登半島地震における超高層集合住宅の建物応答推定および回転地盤ばね評価	森清宣貴（鴻池組）
A-11-6	20240036	傾斜土槽を用いた頭部固定式二重土留め工法の地震時挙動に関する二次元模型実験	菊池彬大（中央大学）

全体プログラムへ戻る

A-12 4th of December 13:30-15:00

地盤と構造物の相互作用-2,土木構造物-1

Chairperson: 森清宣貴（鴻池組）

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-12-1	20240110	JMA 輪島観測点近傍の 4 階建て RC 造庁舎建物における 2024 年能登半島地震の余震観測	中川博人（建築研究所）
A-12-2	20240174	令和 6 年能登半島地震における中低層 RC 造建物の建物被害調査と地盤と建物の相互作用効果に関する検討	堤俊介（清水建設）
A-12-3	20240128	令和 6 年能登半島地震で被災した免震建物の応答推定	奥村豪悠（竹中工務店）
A-12-4	20240049	アーチ構造—地盤系サイトへの想定関東地震における地震入力波形の特徴	相良翔（筑波大学）
A-12-5	20240063	海底断層により放射される地震波を受ける極短周期アーチ構造の地震応答特性	濱崎綾乃（筑波大学）

全体プログラムへ戻る

A-13 4th of December 15:05-16:35

建築構造物-1

Chairperson: 小檜山雅之(慶應義塾大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-13-1	20240035	2023年トルコ・シリア地震被害とトルコ耐震基準に定める設計用応答スペクトルに関する研究	大塚悠里 (建築研究所)
A-13-2	20240106	輪島市の4階建てRC造建物における2024年能登半島地震の余震観測	鹿嶋俊英 (建築研究所)
A-13-3	20240079	地震観測に基づく4層木造軸組建築物の振動特性評価	修庾迪 (東京理科大学)
A-13-4	20240168	地震観測とシミュレーション解析に基づいた細長い平面形状を有する建物の地震時挙動に関する検討	保井美敏 (戸田建設)
A-13-5	20240048	周波数依存ばねを持つ多質点系による実構造物の部分系の剛性推定	成田修英 (戸田建設)
A-13-6	20240122	2層1軸偏心建物における加速度と床応答スペクトルに関する一考察	宮村航平 (東京科学大学)
			全体プログラムへ戻る

A-14 4th of December 16:40-17:55

建築構造物-2

Chairperson: 成田 修英 (戸田建設)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-14-1	20240069	基礎すべり構法の振動台実験(2015)に基づく基礎回転量に関する研究	岡駿太郎 (東京都立大学)
A-14-2	20240154	ねじ固定式あと施工アンカーの引抜き耐力に関する実験	藤田康介 (東京科学大学)
A-14-3	20240068	CLTと鉄骨のハイブリッド構造の構造特性に応じた構造計画と概算設計法の提案	高橋里菜 (東北大学)
A-14-4	20240024	複数回地震入力为基础免震建築物の上部構造の応答に与える影響	服部巧 (千葉工業大学)
A-14-5	20240030	複数回地震入力に対するRC造骨組の応答を模擬したCritical PMI解析	大藏業充 (千葉工業大学)
			全体プログラムへ戻る

A-21 5th of December 9:15-10:45

建築構造物-3

Chairperson: 前田匡樹 (東北大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-21-1	20240061	鋼管により開口補強した RC 造耐震壁のせん断抵抗機構と補強効果の検討	根本大成 (東北大学)
A-21-2	20240177	IISEE 組積造構造実験データベースに基づく補強組積造壁の復元力特性に関する統計的検討	小豆畑達哉 (建築研究所)
A-21-3	20240184	建築構造用 550N/mm ² 級および 590N/m ² 級高強度鋼の疲労特性	柏原優大 (東京電機大学)
A-21-4	20240007	複数回地震入力に対する鉄筋コンクリート造制振建築物の応答を模擬した Critical Pseudo-Multi Impulse(PMI)解析	藤井賢志 (千葉工業大学)
A-21-5	20240056	鋼構造梁降伏型剛接骨組における柱脚形式に着目した強震時の損傷特性 (その 2) 5 層骨組における累積塑性変形倍率と最大層間変形角の関係	柳田佳伸 (青木あすなる建設)
A-21-6	20240019	構造設計検討や最適化のための地震時最大応答高速評価法	明橋弘樹 (竹中工務店)

全体プログラムへ戻る

A-22 5th of December 10:50-12:05

建築構造物-4

Chairperson: 平井敬 (兵庫県立大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-22-1	20240076	鋼板製外壁におけるねじ接合部の施工性および面外挙動に関する実験	黒澤未来 (東京科学大学)
A-22-2	20240118	CLT パネルと太径ビスによる低層建築用ユニットシステムの開発	渡邊悠 (東北大学)
A-22-3	20240083	工事費用と GHG 排出量に基づく既存 RC 造建物の耐震補強方法の効率評価に関する基礎的検討	吉田陽葵 (東北大学)
A-22-4	20240169	産業施設の耐震設計における確率論的地震ハザード情報の利用動向調査	當麻純一 (地震予知総合研究振興会)
A-22-5	20240065	瞬間入力エネルギーに基づく木造住宅建築物の最大応答変位の推定	石山悠人 (千葉工業大学)

全体プログラムへ戻る

A-23 5th of December 13:30-15:00

建築構造物-5

Chairperson: 吉敷祥一(東京科学大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-23-1	20240105	鉄骨造事務所建物の被害推定指標に関する研究	秋山虎太郎(香川大学)
A-23-2	20240129	徳島県脇町地区における伝統的木造建物の耐震性能評価法に関する研究	小藪秀輝(香川大学)
A-23-3	20240058	複数回の地震を受ける木造住宅の累積損傷による性能低下	山崎義弘(東京科学大学)
A-23-4	20240136	3次元畳み込みニューラルネットワークを用いた履歴ループに基づく木造建物の損傷判別システム	千葉荘輝(慶應義塾大学)
A-23-5	20240082	倒壊解析に基づく木造住宅の残留変形と最大層間変形の関係	小谷菜央(兵庫県立大学)
A-23-6	20240092	震害を受けたRC建物の復旧効率性評価法の立案	秋谷理穂(東北大学)

全体プログラムへ戻る

B-11 4th of December 10:50-12:20

震源特性-1

Chairperson: 倉橋 奨(愛知工業大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-11-1	20240022	アスペリティの震源からの距離と破壊時刻の地震規模との経験的關係	大島光貴(大崎総合研究所)
B-11-2	20240084	強震動予測レシビを踏まえた初期パラメータ設定に基づく動力学モデルを用いた断層破壊シミュレーション	岩田直樹(中電技術コンサルタント)
B-11-3	20240046	地表地震断層をモデル化する際の断層浅部のパラメータの違いが断層ごく近傍の地震動計算へ与える影響	貴堂峻至(大崎総合研究所)
B-11-4	20240148	グリーン関数の相反性を用いた1995年神戸地震の野島セグメントの特性化震源モデル	Petukhin Anatoly(京都大学)
B-11-5	20240012	地震波特性と建物層数の各階の振動への影響の比較	松本英志(東京都市大学)
B-11-6	20240112	強震動データフラットファイルから推定した上下動に対する距離減衰式	小阪宏之(戸田建設)

全体プログラムへ戻る

B-12 4th of December 13:30-15:00

震源特性-2, 地下構造

Chairperson: 大島光貴 (大崎総合研究所)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-12-1	20240047	東京湾岸で観測された2024年4月17日豊後水道の地震及び2024年8月8日日向灘の地震による長周期地震動	植竹富一 (東京電力ホールディングス)
B-12-2	20240062	経験的グリーン・テンソル法の能登半島北東部の地震への適用	八木尊慈 (構造計画研究所)
B-12-3	20240114	2024年能登半島地震 (Mw7.5) における震源インバージョンによる震源破壊過程	倉橋奨 (愛知工業大学)
B-12-4	20240173	石川県輪島市中心市街地における2024年能登半島地震の余震観測および常時微動探査	林田拓己 (建築研究所)
B-12-5	20240124	台湾南東部における地盤構造推定のための常時微動アレイ観測	CHOU YUTING (京都大学)
B-12-6	20240107	庄内平野での常時微動観測による水平上下スペクトルと推定位相速度	松島信一 (京都大学)

全体プログラムへ戻る

B-13 4th of December 15:05-16:35

地盤震動-1

Chairperson: 林田拓己 (建築研究所)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-13-1	20240003	結晶質岩盤サイトにおける地盤増幅率パーセントイルの検討	西坂直樹 (四国電力)
B-13-2	20240100	サイト特性のばらつきが二重スペクトル比に及ぼす影響についての検討	井上晏菜 (東京都立大学)
B-13-3	20240171	浅部地盤を考慮した1995年兵庫県南部地震時の「震災の帯」および大阪地域における地震動評価	金山京香 (東京理科大学)
B-13-4	20240028	遠方の震源に対してSGF法を用いる場合の深部地下構造の影響	金田惇平 (東電設計)
B-13-5	20240103	六甲・淡路島断層帯を対象とした減衰特性評価のための臨時地震観測～背景ノイズの特徴と地震の選定～	久保田藍午 (東京都立大学)
B-13-6	20240027	新設地震計の観測記録を用いた鳥取県西部地震の震源断層の減衰特性	山田雅行 (ニュージェック)

全体プログラムへ戻る

B-14 4th of December 16:40-17:55

地盤震動-2

Chairperson: 久保久彦(防災科学技術研究所)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-14-1	20240130	地盤・建物の強震観測記録を用いた震央方位による大阪平野の地盤増幅特性と建物応答	成島慶 (鴻池組)
B-14-2	20240006	拡散波動場理論に基づく 2023 年トルコ・シリア地震における震源近傍観測地点の基盤地震動の推定	塩田哲生 (筑波大学)
B-14-3	20240021	2024 年能登半島地震の際八王子で発生した周期 2s 弱の地震動	年縄巧 (明星大学)
B-14-4	20240043	2024 年 8 月 9 日神奈川県西部の地震 (M5.3) において関東平野でみられた相対的な強震域分布の生成要因	杉山充樹 (大林組)
B-14-5	20240029	多段式せん断土槽を用いたアルミ棒積層地盤の振動実験	森井颯太 (中央大学)

全体プログラムへ戻る

B-21 5th of December 9:15-10:45

地盤震動-3

Chairperson: 小穴温子(清水建設株式会社)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-21-1	20240073	臨時強震観測による三浦半島断層群周辺の地盤震動特性の評価	山中浩明 (東京科学大学)
B-21-2	20240005	自動車を活用した地震観測の実現へ向けた車載地震計の運用実験	平井敬 (兵庫県立大学)
B-21-3	20240017	国道沿いに設置された光ファイバを活用した DAS 観測記録を用いた表層地盤モデル構築の試み	内藤昌平 (防災科学研究所)
B-21-4	20240044	異常震域に着目した機械学習による震度予測の基本的検討	本田栞 (竹中工務店)
B-21-5	20240051	2 層地盤モデルを対象とした Rayleigh 波分散曲線から S 波速度構造への逆解析に対する深層学習モデルの検討	吉野将生 (九州大学)
B-21-6	20240016	構造物設計用入力地震動に考慮すべき不確定性に関する一考察	前川利雄 (熊谷組)

全体プログラムへ戻る

B-22 5th of December 10:50-12:20

地盤震動-4

Chairperson: 森川信之 (防災科学技術研究所)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-22-1	20240121	太平洋プレートのプレート間地震を対象とした加速度応答スペクトルの予測の可能性	古村美津子(地震予知総合研究振興会)
B-22-2	20240085	機械学習を用いた地震動評価モデルの令和6年能登半島地震の地震動に対する性能評価	小穴温子(清水建設)
B-22-3	20240025	令和6年能登半島地震における長周期地震動の特徴	久保久彦(防災科学技術研究所)
B-22-4	20240117	2024年能登半島地震の被災地における余震観測に基づく増幅特性(輪島市門前町走出地区および珠洲市市街地)	吉見雅行(産業技術総合研究所)
B-22-5	20240089	2024年能登半島地震の大被災域(珠洲・輪島)における特異な地盤増幅特性	川瀬博(日本建築総合試験)
B-22-6	20240191	2024年能登半島地震の石川県鳳珠郡穴水町における地震動特性	津野靖士(東京科学大学)

全体プログラムへ戻る

B-23 5th of December 13:30-15:00

地盤震動-5, 津波・歴史地震・その他

Chairperson: 吉見雅行(産業技術総合研究所)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-23-1	20240010	極短周期波動を計測できる地震計の設置を!	塩井幸武(八戸工業大)
B-23-2	20240013	ユーイング円盤記録式強震計による1923年関東地震の記象の解析 その4 M7級余震による記録との比較	翠川三郎(現東京科学大学)
B-23-3	20240120	東京本郷における1923年関東地震の地動再推定-今村式2倍強震計の地震計定数の見直し-	片岡俊一(弘前大学)
B-23-4	20240131	東京本郷における1923年関東地震の地動再推定-三次元差分法による地震動シミュレーション-	早川崇(清水建設)
B-23-5	20240127	確率論的地震ハザード評価における地震活動モデル更新に関する検討	森川信之(防災科学技術研究所)
B-23-6	20240052	光ファイバひずみ計による2023年と2024年に鳥島近海で発生した津波の観測	松本浩幸(海洋研究開発機構)

全体プログラムへ戻る

B-24 5th of December 15:05-16:35

地盤の液状化・斜面崩壊

Chairperson: 佐々木智大(大林組)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-24-1	20240078	応答加速度より算出した 2 方向エネルギー Spektralによる過剰間隙水圧比の上昇に関する解析的検討	浅見健斗(京都大学)
B-24-2	20240116	間隙分布の違いによる砂の液状化履歴に伴うせん断波速度の変化	笠原誠矢(東京電機大学)
B-24-3	20240141	Influence of the Coefficient of Earth Pressure at Rest (K_0) on the Liquefaction Resistance of Soils under Earthquake	LI TIANZE(Kyoto University)
B-24-4	20240167	2024 年能登半島地震により内灘砂丘で発生した液状化被害	安田進(東京電機大学)
B-24-5	20240150	地震観測記録を活用した地震応答解析モデルの評価と考察	田中駿(中央開発株式会社ソリューションセンター)
B-24-6	20240095	水平 2 方向地震動を受ける密な飽和砂地盤の応力計測	佐々木智大(大林組)

全体プログラムへ戻る

C-11 4th of December 10:50-12:20

免震・制振・ヘルスマニタリング-1

Chairperson: 毎田悠承(東京大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-11-1	20240067	Anomaly Detection に基づく天井の損傷検知	仁田佳宏(足利大学)
C-11-2	20240093	限られた加速度計の地震応答観測記録に基づく建物各階の剛性低下率の推定手法の検討	大野歩美(東北大学)
C-11-3	20240090	構造ヘルスマニタリングによる長期観測データを用いた免震建物の振動特性の評価	岡田敬一(清水建設)
C-11-4	20240178	地震時実測に基づく鉄骨造実建物の柱梁ひずみ応答分布に関する検討	有賀萌香(東京大学)
C-11-5	20240014	衝撃的な床加速度を受ける家具の模型転倒実験および数値解析	畑中祐紀(大阪大学)
C-11-6	20240104	慣性質量効果を有する液流ダンパーを対象とした抵抗力特性のモデル化と 1 層骨組の振動応答に関する検証	高橋辰弥(東北工業大学)

全体プログラムへ戻る

C-12 4th of December 13:30-15:00

全体プログラムへ戻る

免震・制振・ヘルスマニタリング-2

Chairperson: 山崎義弘 (東京科学大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-12-1	20240111	建物の非線形地震応答解析モデル構築に向けた逐次パラメータ最適化法の提案	井原沢登(茨城大学)
C-12-2	20240018	鉄骨造超高層建物の地震波形データに基づく機械学習による損傷評価	森田高市(国土技術政策総合研究所)
C-12-3	20240026	曲げ加工された鋼板を用いた免震構造用フェイルセーフ機構の水平加力実験	柳口清香(大阪大学)
C-12-4	20240039	エネルギー関数に基づくセミアクティブ制御された免震構造の ARX モデル推定に基づく減衰性能評価の妥当性	杉山遥祐(神戸大学)
C-12-5	20240015	建物振幅に応じて性能が変化する非線形 TMD の性能確認試験	渡井一樹(竹中工務店)
C-12-6	20240109	"免震部材の繰返し変形による特性変化を考慮した応答スペクトル法に基づく免震建物の地震応答予測	小池広輝(明治大学)

C-13 4th of December 15:05-16:35

全体プログラムへ戻る

免震・制振・ヘルスマニタリング-3

Chairperson: 崔炳賢 (日本原子力研究開発機構)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-13-1	20240038	最適制御法を適用した免震構造のセミアクティブ制御効果に関する等価線形化に基づく性能評価	高見志保(神戸大学)
C-13-2	20240183	摩擦特性を有する高減衰ゴムダンパーの力学モデルの提案	五十嵐優奈(明治大学)
C-13-3	20240055	免震層に対する縮約モデルを用いた免震層水平剛性推定手法の適用事例	宮内智香(兵庫県立大学)
C-13-4	20240175	寺院建築における大断面柱の相互緊結による制震デバイス補強の水平加振実験－その1 開発のねらい, 制震デバイス補強の概要及び水平加振実験－	梶川久光(明治大学)
C-13-5	20240189	寺院建築における大断面柱の相互緊結による制震デバイス補強の水平加振実験－その2 変形モード理論及び力学モデルの構築－	岡田由佳(ミサワホーム総合研究所)
C-13-6	20240004	磁性体を併用した渦電流ダンパーのモデル化と振動台実験	中野尊治(大阪大学)

C-14 4th of December 16:40-18:10

免震・制振・ヘルスマニタリング-4,原子力構造物-1

Chairperson: 梶川 久光 (明治大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-14-1	20240032	鋼製制振間柱を用いた RC 造骨組の制振間柱周辺部位の必要強度	高田光悠 (千葉工業大学)
C-14-2	20240185	制振装置に用いる高減衰ゴムの引張試験	森宗孝明 (明治大学)
C-14-3	20240001	制振用オイルダンパーの吸収エネルギーによる油温上昇を評価する手法	山本雅史 (竹中工務店)
C-14-4	20240081	リンク式流体慣性ダンパを設置した小型 2 層木造模型の振動台実験	韓兆煦 (東京理科大学)
C-14-5	20240094	スライディングモード制御による免震構造物のセミアクティブ制御に関するリアルタイム・ハイブリッド実験による検証	影山史渡 (神戸大学)
C-14-6	20240041	"原子炉施設の三次元耐震解析手法の高度化に関する研究 (令和 6 年能登半島地震による振動特性分析)"	崔炳賢 (日本原子力研究開発機構)

全体プログラムへ戻る

C-21 5th of December 9:15-10:45

原子力構造物-2,新しい構造・材料・その他-1,機械設備系-1

Chairperson: 向井洋一 (神戸大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-21-1	20240181	免震型原子炉建屋内機器の地震リスクに与える擁壁衝突の影響	野村岳志 (東京都市大学)
C-21-2	20240070	建物の構造性能・環境負荷・建設コスト・経済効果を考慮したサステイナブル建築構造指標の提案	鈴木 陽平 (東北大学)
C-21-3	20240054	津波による損壊を防ぐための構造物用エアバッグの開発	有賀義明 (弘前大学)
C-21-4	20240188	エルボ配管の繰り返し荷重下の破損モードに対する解析的評価	森陽祐 (東京都市大学)
C-21-5	20240088	静的载荷試験による鋼製配管継手の破損モード調査	中村いずみ (東京都市大学)
C-21-6	20240190	Natech リスク評価に資する損傷モード分類のための配管系加振試験	滝藤聖崇 (日本原子力研究開発機構)

全体プログラムへ戻る

C-22 5th of December 10:50-12:35

英語セッション English session

Chairperson: Trevor Zhiqing Yeow (Institute of Science Tokyo)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-22-1	20240097	GROUND MOTION PREDICTION EQUATIONS USING S-NET DATA AND THEIR TESTS FOR N-NET	Yadab Prasad Dhakai(National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience)
C-22-2	20240060	Study on grain size effect and mass entrainment in landslides based on DEM simulations	Jian CHEN(Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology)
C-22-3	20240099	UNCERTAINTY OF ESTIMATED GROUND MOTION IN THE KYOTO BASIN BY EARTHQUAKES OCCURRING ON THE HANAORE FAULT	Thinzar Yadanar (Kyoto University)
C-22-4	20240147	REDUCED FEATURE SELECTION FOR PREDICTING BUILDING-LEVEL DUCTILITY RESPONSE IN R/C BUILDINGS USING MACHINE LEARNING	Taipicuri Huacre Yenifer Carol (The University of Tokyo)
C-22-5	20240149	APPLICABILITY STUDY OF A SWARM INTELLIGENCE ALGORITHM TO IDENTIFY THE PARAMETERS OF A SINGLE DEGREE OF FREEDOM SYSTEM	Munoz Flores Andre Alberto (The University of Tokyo)
C-22-6	20240072	Novel Modal Decomposition Method for Low-frequency Structure with Non-proportionally Distributed Rate-independent Linear Damping	Wei LIU (The University of Tokyo)
C-22-7	20240080	Collapsed Wooden Building Areas Mapping for the Post-Event Aerial Images of the 2024 Noto Peninsula Earthquake Using Deep Learning	Hongrui LYU (Institute of Science Tokyo)

]全体プログラムへ戻る

D-12 4th of December 13:30-15:00

社会問題-1

Chairperson: 崔青林 (北海道大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-12-1	20240053	地震時における需要家の電力供給再開時間の評価	松本俊明(篠塚研究所)
D-12-2	20240098	画像処理を用いた地震時の建物倒壊評価法の提案	肥田剛典(茨城大学)
D-12-3	20240108	オムニホイールを用いた全方向移動型二重倒立振子による人体の地震応答解析モデルの構築	佐藤匠(茨城大学)
D-12-4	20240115	衝突を考慮した人体の地震応答解析モデルによる地震時群衆避難シミュレーション	二本松景人(茨城大学)
D-12-5	20240077	能登半島地震における外国人被災者に関するインタビュー調査	相原征代(北陸大学)
D-12-6	20240119	南海トラフ地震の多様な地震発生シナリオの防災訓練における利活用	水井良暢(リアルタイム地震・防災情報利用協議会)

全体プログラムへ戻る

D-13 4th of December 15:05-15:50

社会問題-2

Chairperson: 肥田剛典 (茨城大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-13-1	20240163	建物の地震レジリエンス性能評価に向けた研究 -2022年福島県沖の地震による建物被害の復旧状況と業務停止-	松井貴宏(清水建設)
D-13-2	20240113	令和6年能登半島地震における生産施設の被害分析	大野達也(清水建設)
D-13-3	20240045	異なる被害関数を組み合わせた不完全情報の補完-能登半島地震における直接被害額の推計事例-	崔青林(北海道大学)

全体プログラムへ戻る

D-21 5th of December 9:15-10:45

被害調査-1

Chairperson: 四井早紀 (東京大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-21-1	20240162	2024 年台湾・花蓮地震における建物応答推定と設備機器等の被害状況	重田永生 (名古屋大学)
D-21-2	20240156	台湾花蓮市における中高層 RC 造建物の常時微動計測および被害調査—2018 年, 2024 年地震時の固有周期の変化と建物被害—	古賀優志 (東京理科大学)
D-21-3	20240145	2024 年台湾・花蓮地震で被災した鉄筋コンクリート造建物の被害調査—未耐震補強建物の損傷状況と耐震性能残存率の評価—	鈴木有美 (大阪大学)
D-21-4	20240180	2024 年台湾花蓮地震時の中高層 RC 造集合住宅の揺れと室内被害—建物の被害調査および住民を対象としたアンケート調査を通じて—	劉虹 (東京理科大学)
D-21-5	20240002	札所巡りと関東大震—愛知県西尾市東向寺の“大観音”の調査	武村雅之 (名古屋大学)
D-21-6	20240071	人工衛星の SAR 画像解析で推定した 2024 年能登半島地震の被害域と現地調査による液状化被害との関係	西村和真 (損害保険料率算出機構)

全体プログラムへ戻る

D-22 5th of December 10:50-12:35

被害調査-2

Chairperson: 池元孝輔 (香川大学)

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
D-22-1	20240086	木造建物の建築年別津波被害関数の構築	片野彩歌(工学院大学)
D-22-2	20240008	2024年能登半島地震(M7.6)の墓石被害調査に基づく地震動強さの推定	池元孝輔(香川大学)
D-22-3	20240020	神社鳥居の地震時挙動と耐震性に関する考察 (その2. 2024年能登半島地震の被害調査)	関松太郎(建築研究所)
D-22-4	20240066	2024年能登半島地震の液状化被災地における人工衛星InSARシミュレーション	松岡昌志(東京科学大学)
D-22-5	20240153	令和6年能登半島地震による液状化被害のあった高岡市伏木地区での常時微動観測による動的地盤特性の検討	三辻和弥(山形大学)
D-22-6	20240125	2024年能登半島地震における鶴飼地区のUAV画像を用いた点群モデルの構築と瓦礫量の推定	王欣(足利大学)
D-22-7	20240009	F43断層モデルを用いた輪島市中心部の地震火災リスク評価	西野智研(京都大学)

[全体プログラムへ戻る](#)